

第2回 常任理事会 議事録

【開催】令和5年6月16日

あいさつ 東京都高等学校体育連盟会長

奥秋 将史

関東大会が終わり、明日から陸上・最後は水球の7月25日終了目前で、大きな事故の報告もなく安心しているところ。一方、コロナ感染も少しずつ出てきてはいるが、対応については防止と感染拡大に対する対応は、各専門部の裁量でとっていただければと思います。危機管理部分ですが、熱中症予防なども6月から秋までは十分な対応が必要。各専門部で作成されている危機管理マニュアルについても改めて見直しをしていかなければいけないと思っている。

教育庁指導部体育健康教育担当課長

山本一之介

- 1.危機管理について→事故に関して初期対応が大変重要。特に頭部外傷に関しては怪我の当初に目立った症状が無くても、軽度・重度にかかわらず、原則として医療機関に搬送・受診が大切になってくる。
- 2.熱中症事故の防止について→熱中症に備え水分や塩分の補給ができる環境を整え、適宜補給し事故防止に努めるよう御指導いただきたい。暑さ指数などの暑さ情報で熱中症の危険度を判断し活動内容を適正に調整の上、熱中症を未然に防いでいただきたい。
- 3.感染防止に関しては一律のガイドラインは外しましたが、今後も各専門部ごとにご検討いただき引き続き感染防止に努めていただきたい。
- 4.「部活動の地域移行」都中体連は学校単位ではなく地域スポーツ単位で大会参加を認め企画していく方向である。都立高等学校などは強雨実の活動に関しては地域スポーツ活動の施行実施が進んでいる。持続可能な部活動の推進に引き続きご協力をよろしくお願い致します。

【連絡・報告事項】

1 諸会議等報告【奥秋会長】

- (1) 第一回常任理事会「議事録」(4月4日実施)
- (2) 理事会・評議員会 (書面開催) 議案通り承認 委任状数 348名
- (3) 都総体総合開会式 オリンピック記念青少年センター 4月8日実施 参加生徒90名
- (4) 新旧役員会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 全国高体連関連【奥秋会長】

- (1)
- (2) 令和5年度全国高等学校総合体育大会(夏季大会)開催の方針等について
→「今年度は通常の形態で開催」
- (3) 令和5年度全国総合体育大会関連
 - ① 競技会場・競技日程
 - ② 総合開会式開催要項等
 - ③ 総合開会式への参加人数、参加種目について
役員招待席 2名
選手団 6名(役員2名・ソフトテニス選手4名)
引率者 2名以内
※下北沢成徳高校は前年度優勝校のため優勝杯を返還する。
- ④ 令和5年度全国高等学校総合体育大会宿泊要項
- (4) 令和5年度全国高等学校総合体育大会宿泊に関する規定の遵守について(依頼)
- (5) 体罰根絶に向けた取組のさらなる強化について(依頼)
- (6) 安心安全な大会運営に向けた安全管理体制の再確認について(依頼)

3 関東高体連関連【鴻野理事長】

- (1) 令和5年度関東高等学校体育大会開催予定
- (2) 令和5～12年度 関東高等学校体育大会開催予定
- (3) 令和5年度 関東高等学校選抜等大会
- (4) 令和5～9年度 関東高等学校選抜等大会開催予定
- (5) 令和5年度 関東高等学校体育連盟役員名簿
- (6) 令和5年度 関東高等学校体育連盟専門部役員名簿
- (7) 関東大会・選抜等大会に係る提出書類の流れ

4 東京都高体連関連【高野事務局長】

- (1) 令和5年度東京都高等学校体育連盟会議日程等
→全国総体役員・選手結団式 開催期日→令和5年7月15日(土) 14:30～15:30へ変更
- (2) 東京都高等学校体育連盟研究部事業
- (3) 体罰根絶に向けた取組の再確認について(通知)
- (4) 令和5年度中学英語スピーキングテスト実施に関するお願いについて
- (5) 令和9年度全国高等学校総合体育大会(南関東ブロック開催)について

【協議事項・議題】

- (1) 東京都高体連運営支援金審査(案)について(2件) …………… 承認
- (2) 令和5年度全国高等学校総合体育大会 東京都役員・選手結団式について(案) …………… 承認
役員・常任理事の集合時間当日の日程・仕事の段取り・生徒集合の時間など…………… 承認

【事務局より】【高野事務局長】

各種提出物・調査等一覧(提出期限厳守でお願いします)・IH押印の提出が遅いので確認を。

あいさつ

東京都高等学校体育連盟副会長

池戸 成記

全国高校総体の結団式については700人越えの開催になるとの事で、やっとそこに戻ってこれたと感慨深いものがある。東京都代表として全国の大会へ他の競技の人と共に戦うことは、高校生にとっても大変有意義なことである。また、このコロナ禍で実感したこととして、どんなにエネルギーを使っても戻さなければならないこと、スクラップしてよいものを取捨選択していきより効率よく実施していくべきと考える。また、『ストップ! スポハラ』という言葉が前面に出ることなくこのまま、いつの間にか消えていけるようになればと思っている。